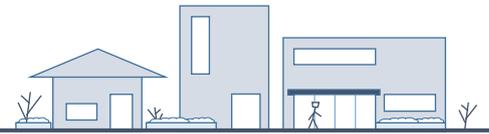


<都市景観アドバイザー制度を活用した事例>



11. 長屋 / 建築物の新築（令和5年度）

具体的な助言ではなく、全体的な計画を評価するコメントが多かったケースです。

協議時資料



評価されたポイント(抜粋)

- <全体> 敷地を広場として使用できる上、低層で圧迫感がなく周囲と溶け込むよう配慮されている
- <色彩> 緑が映えるような外壁の色となっている
- <植栽> 樹木が適度に配置されており、果実がなり、住民が楽しめるような樹種が選定されている
- <外構> ゴミ置き場も木の素材で揃え、ゴミ置き場に見えないような計画となっている

景観だけでなく、コミュニティにも配慮された計画となりました。



生活の場における植栽のあり方の参考事例になると評価されました。